

※ 考生請注意：本試題不可使用計算機。請於答案卷(卡)作答，於本試題紙上作答者，不予計分。

1. 下記の日文を中(漢)文へ翻訳する。(40%)

「善意」は善人？

民法はとても身近な法律でありながら、多くの人はその基本すら知りません。

民法のセンスを身につければ、社会で生起するさまざまな出来事をクリアーに見ることができる観察眼が身につくでしょう。

それでは、民法の授業を始めましょう。

が、その前に、独特の用語について解説しておきます。

民法や商法などでは、「善意」「悪意」という言葉が頻繁に出てきます。

私は、最初「善意」というのは善人のことで、「悪意」というのは悪人のことだと思っていました。

しかし、大学の最初の授業で、教授が、

「みなさん。善意は善人、悪意は悪人と思っている人がいるかもしれませんが、民法の善意、悪意はまったく別の意味です」

と、私の心を見透かしたかのように説明を始めました。

法律では、「善意」とは事情を知らないこと、「悪意」とは事情を知っていることを指します。

たとえば、民法をかじったことのある人にとってはおなじみの94条があります。

(虚偽表示)

第九十四条 相手方と通じてした虚偽の意思表示は、無効とする。

2 前項の規定による意思表示の無効は、善意の第三者に対抗することができない。

この条文の2項に書かれている「善意」というのは、1項の「相手方と通じてした虚偽の意思表示」であることを「知らない」ということです。逆に「悪意」は、そのことを「知っている」ということです。

2. 將下列中文翻譯成日語文(30%)

「判例與法源」

所謂判例，指法院對類似的訴訟案件，因反復為同一判決，成為日後判決之參考的先例。此種判例若獲得國家法律之承認，亦能作為法律產生之依據。判例效力如何？可否拘束下級法院？通常判例在重視成文法或不成文法之國家中，顯有不同，在重視不成文法國家中，判例即是法律，其效力與法律相當；惟在重視成文法之國家中，判例並無法律之效力，只是法院就相同或類似之案件，應避免作相抵觸之判決。

3. 試將日語文各 50 基本字母寫出，含平假名及片假名？(各 15%計 30%)